

第4学年1組 道徳科学習指導案

- 1 主 題 きめつけはやめよう
- 2 教材名 「だれにでも」(小学校中学年用人権教育資料『ほほえみ』)
- 3 ねらい C 公正、公平、社会正義
先入観や固定観念を見直し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする意欲を育てる。

4 主題設定の理由

本学級の児童は、仲が良く、相手の気持ちを考えて行動しようとする子も多い。しかし、中には、特定の子と仲良くしていたり、自分のグループ以外の子にはきつい口調で注意をしていたりする児童もいる。そのため、同じことをしていても、人によって注意をしたりしなかったり、相手によって注意の仕方が違うことがある。中にはその子自身について正しく理解しておらず、決めつけや思い込みで判断してしまっている子もいる。

先入観や固定観念を見直し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようするまでには至っていない。

本教材は、「ぼく」の心情の変容を通して、外国にルーツをもつ人にも、走ることが速い人もいればそうでない人がいることに気づき、どこの国の人でも得意不得意や好き嫌いなど、ルーツではなく一人ひとりによって違うことについて考えることのできる教材である。本教材では、ゆうたさんの言葉から、ぼくがアリーヤさんの気持ちを考えることによって、外国にルーツをもつ人に対して、先入観や固定観念をもっているのではないかと気づき、後悔する姿が描かれている。そのような姿から、多様な価値観を受容することは人間関係を豊かにすることに気づき、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする意欲を育てるのに適した教材である。

指導にあたっては、子どもの思考を広げやすくするためにTTによる授業を行う。T1は「ぼく」、T2は「アリーヤさん」の視点で問いかけをすることで、児童が思考する場合の立場を明確にする手立てとする。まず、日本人やアフリカ人のイメージについて話をすることで、個人として見られているのではなく、全体として見られていることを確認する。次に、アリーヤさんは足が速いと考えた理由を考えさせることで、出身国の一つの特徴をそのままアリーヤさんに結び付けていることを押さえる。そこで、T2がアリーヤさんの視点に立ち、苦い顔をしている理由を問うことで、思い込みや決めつけが相手を傷つけていることに気付かせる。そして、「あ！そっか・・・」という言葉から、ぼくはどんなことに気付いたかを考えさせる。その際に、グループで話し合わせることで様々な意見に触れさせ、多様な見方や考え方があることにより気づき、自分の考えを広げさせる。終末では、先入観や固定観念をもたないためにはどうすればよいかを考えさせることによって、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする意欲を育てたい。

- 5 人権教育の観点 2-(2)-ア 差別と人権問題についての学習
多くの児童は、誰に対しても公正、公平な態度で接することは大切であると理解しているが、勝手に決めつけていたり、思い込みによって知らないうちに相手を傷つけてしまったりしていることがある。本授業では、先入観や固定概念で人を判断する誤りに気づき、相手の立場に立って公正、公平に接しようとする資質・能力の育成につなげたい。

- 6 指導計画 1時間

7 指導過程（展開）

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
<p>1 日本とガーナの写真を 見て、各国のイメージを知る。</p>	<p>○ 外国から見た日本のイメージは？【T1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全 ・ アニメが好き ・ お寿司が好き <p>○ ガーナ（アフリカ）ってどんなイメージ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジャングルがある ・ 足が速い ・ 肌が黒い 	<p>○ 日本やガーナについてのイメージを聞くことで、教材に興味をもたせる。</p> <p>○ 自分の知っていることとは違った見方があることについて説明する【T2】</p> <p>○ 知らないことがあることに気付かせることで、相手から見られている見方が自分の考えていたことと違うこともあると知る。</p>
<p>2 教材を読んで話し合う。</p> <p>① アリーヤさんは足が速いと思った理由を考える。</p> <p>② アリーヤさんの苦い顔の理由を考える。</p> <p>③ ぼくが何に気付いたか考える。</p> <p>④ 決めつけないためにはどうすればよいかを考える。</p>	<p>○ なぜ、アリーヤさんは足が速いと考えたのでしょうか。【T1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカの人は足が速いから ・ ガーナ出身だから ・ 外国人だから <p>○ アリーヤさんはどうして苦い顔なのだろうか。【T2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うれしくない ・ 得意じゃないのに決めつけられたから ・ 思い込みで言われても、いやだ ・ 見た目で判断されても困る ・ 自分自身を知って欲しい <p>○ ぼくは「あ、そっか・・・」でどんなことに気付いたのでしょうか。【T1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人それぞれ足の速さは違う ・ 国や肌の色で決めつけてはいけない ・ 人によって得意なことは違う ・ ゆうたさんの考え方は素敵だな ・ ぼくも次からは決めつけをやめよう ・ 一人ひとりを見て判断しないといけない <p>○ 決めつけないためにどうしたらいいのかな。【T1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 決めつけや思い込みをしてはいけない ・ 思っていることをすぐ口にしない ・ しっかりと相手を見て、判断する ・ 相手のことを知ってから行動する ・ 相手の気持ちを考えるようにする ・ 知らないことを知ろうと努力する 	<p>○ 出身国の一つの特徴をそのままアリーヤさんに結び付けて、思い込みで判断していることを押さえる。</p> <p>○ アリーヤさんの表情に着目させることで、決めつけや思い込みが相手を傷つけていることに気付かせる。</p> <p>○ ワークシートに書かせることで、自分の考えをもたせる。</p> <p>○ ゆうたさんの言葉からアリーヤさん自身を捉えることの大切さに気付かせる。</p> <p>○ 決めつけないためには、どうすればよいかを問うことで、価値についてより深く考えさせる。</p>
<p>3 本時のふり返りを する。</p>	<p>○ 学習をふり返って書きましょう。【T1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 決めつけがいけないということが分かった ・ 自分も見た目で判断してしまったことがあったから気を付けたい ・ 相手のこと知らないまま、思い込みで話したり行動したりしてはいけない 	<p>○ 学習したことをふり返らせ、今後の生活につなげたい。</p>

〔別紙②〕



チョークは、色の違いが識別しやすいように、色覚に対応したチョークを使用しました。誰もが見やすいユニバーサルカラーになっています。

公正、公平、社会正義から親切、思いやりにならないよう、意見として気持ちの部分が出たときは、問い返して価値がずれないように板書しました。



グループトーク

ワークシート

（ ）月 （ ）日
 ぼくはあきさか……。ぼくはななごに気付いたのではありませんか。
 だれにや。

○ぼくは「あ、そっか……。」で
 どんなことに気付いたのでしょ
 うか。
 ○今日のふりかえり
 (わかったこと、気付いたこと)

★今日のふりかえり(わかったこと、気づいたこと)
 人を見た目だけではんだんしてはいけ
 ないと思えました。
 人を見た目ではんだんしたら本当は
 ちがうのに相手を決めつけてしまつたら
 ず。相手のなかみさことに知りた
 いです。

ぼくはあきさか……。ぼくはななごに気付いたのではありませんか。
 ガーナだからってガーナの人みんな
 の走りが速いわけでもないし、みんな
 それぞれとくいなところがあるから人の
 ことさことに知る

★今日のふりかえり(わかったこと、気づいたこと)
 だれにどうも意ぶとく意があつてことを分か
 てあげて国などで決めつけないほうがいいと思
 うし、その人のことを知ってあげることさ
 ことも大切なことなのだと分かりました。

ぼくはあきさか……。ぼくはななごに気付いたのではありませんか。
 アリーヤさんがガーナだからという理
 由で勝手に足が速いと決めつけてしまつて
 アリーヤさんはいやなおもいをしてしまつた
 ことに気付いた。

★今日のふりかえり(わかったこと、気づいたこと)
 これからは、決めつけたりいやな
 ことを言わずにほめた方がいい
 ことを言っていきたいと思
 いました。国がいよいよなくなつても
 たいおうはいよいよにしてい
 たいです。

ぼくはあきさか……。ぼくはななごに気付いたのではありませんか。
 アフリカのガーナ生まれで
 も、それぞれとく意なところや
 ぶとく意なところがあるから
 決めつけたり、いやなことを言
 いためだと思つた。

★今日のふりかえり(わかったこと、気づいたこと)
 自分も、学校生活の中、この話を
 聞いたら決めつけたり悪いことを言
 ってしまった。たなと気づいて足か
 速そうなんでも不とくいや。たさこ
 もあるし、相手のことを考える決
 めつけないって、ことが大事なんじや
 ないかと、分かりました。

ぼくはあきさか……。ぼくはななごに気付いたのではありませんか。
 だからアリーヤさんは50m走の時
 少し苦い顔をしたんだと分かった。
 勝手に決めつけたり、相手は不
 くいやの言たりして悪いことをせ
 せた気持ちで、モヤモヤした。

★今日のふりかえり(わかったこと、気づいたこと)
 相手の気持ちを、知ることが大切な事
 かわがた。かいてんで見るのじゃなく
 て中身を知ってあげる。みんなかま、た
 く同じではなく、人それぞれとい
 う事も分かりました。

ぼくはあきさか……。ぼくはななごに気付いたのではありませんか。
 自分にもとく意、ぶとく意がある
 のに、アリーヤさんが足が速いといつて
 に決めつけてしまった。

★今日のふりかえり(わかったこと、気づいたこと)
 まずが、てに決めつける人じやなく
 相手あことを知るのが大切と
 分かりました。もしぼく、たらあ
 まがかなことないように相手をま
 ろうと思つています。

ぼくはあきさか……。ぼくはななごに気付いたのではありませんか。
 アフリカ人でも人はとく意、
 ぶとく意があるのになつて足が
 速いと決めつけてしまつたこと
 に気付いたと思つています。

ぼくはあそこか…。どんななことに気付いたのでしょうか。



・アリーヤさんがとく意、か開こうともせず
にとく意、たよわいこと、でしました。
・アリーヤさんはどんな気持ちだ、たんだらう。
・「カーナ人なのにそんなにはやくないし、なく、
「カーナ人でも、とく意、不とく意、がある」

☆今日のめがかりわがなを、書いてごころつけばよかた
最初は、アリーヤさんが言われることは
しかたのないことかとも思っていました。
今日の学習日をして、自分はTVかです、いと思、たか
ら、とて、決めつけることは相手のことをわか
て、いいことだ、なと分かりました。
これからは、とく意、ふとく意、関係なく、楽しく
できたらいいと思、います。

ぼくはあそこか…。どんななことに気付いたのでしょうか。



足が速い、ていっているのは
ぼくの決めつけ、なんだとい
うことに気付いた。

☆今日のめがかりわがなを、書いてごころつけばよかた
これからは外国へ、足速、い
思、わな、いように思、い、こみ、を、し、な
いようにしたいと思、い、ま、し
た。もし、今、回、の、よ、う、な、こ、と、か、あ
たら、相、手、の、こ、と、を、知、ら、り
し、よ、う、と、思、い、ま、す。

ぼくはあそこか…。どんななことに気付いたのでしょうか。



日本人だから、とく意、か、す、か、と、か、
日本人だから、とく意、か、す、か、と、か、
ろのは、よ、く、わ、い、い、な、に、入、り、て、ま、ま、は、あ、る。

☆今日のめがかりわがなを、書いてごころつけばよかた
アフリカ人だから、とく意、か、す、か、と、か、
ら、こ、れ、を、す、る、と、言、う、い、う、に、決、め、つ、け、
と、自、分、も、相、手、も、い、や、な、気、持、ち、に、な、る。
決、め、つ、け、ま、な、く、す、に、は、相、手、の、こ、と、を
し、る。思、い、こ、み、を、し、な、い、い、。

ぼくはあそこか…。どんななことに気付いたのでしょうか。



人それ、それ、とく意、な、こ、と、と、不
く意、な、こ、と、が、あ、る、こ、と、に、気、付、い、た。
足、の、速、さ、は、わ、か、ら、な、い、の、に、が、ー、ナ、人
だ、か、ら、足、が、速、い、と、決、め、つ、け、し、ま、た、か、ら
悪、い、こ、と、を、し、た、な、と、思、い、て、い、る。

☆今日のめがかりわがなを、書いてごころつけばよかた
とく意、不とく意、か、は、人、を、れ、れ、
る、か、り、こ、と、か、わ、か、た、た。
見、た、目、で、は、ん、だ、ん、し、たり、勝、手、に、ま、ぬ
つ、け、た、り、し、な、い、よ、う、に、相、手、の、こ、と、を
よ、く、知、ら、り、聞、い、た、り、し、こ、相、手、か、ら、
な、思、い、を、し、な、い、よ、う、に、す、る。

ぼくはあそこか…。どんななことに気付いたのでしょうか。



・決、め、つ、け、た、ら、タ、メ、だ、だ、…
・言、わ、な、か、た、ら、よ、か、た、た、か、な、な、ま、を、
・思、い、こ、み、し、て、ま、た、た。
・ま、ま、と、い、か、あ、つ、て、ま、お、か、し、く、な、い、の、に、
・ち、ん、と、知、て、あ、け、ら、た、ら、よ、か、た、た、の、に、。

☆今日のめがかりわがなを、書いてごころつけばよかた
・人、の、こ、と、を、ち、ん、と、分、か、て、あ、け、て、身、楽、し、く
す、こ、せ、た、ら、い、い、で、す。今、日、分、か、た、こ、と、は
人、を、れ、れ、不、と、く、い、な、な、か、あ、る、こ、と、が
分、か、り、ま、し、た。こ、れ、か、ら、は、思、い、こ、み、や、
決、め、つ、け、を、や、め、た、い、と、思、い、ま、す。少、な、く、
も、良、い、か、り、人、の、こ、と、も、分、か、て、あ、け、た、い、で、す。
他、の、人、の、こ、と、も、ち、ん、と、知、て、あ、け、た、い、で、す。

ぼくはあそこか…。どんななことに気付いたのでしょうか。



だ、れ、に、だ、て、と、意、ふ、と、く、意、
が、あ、る、ん、だ、た、ら、も、か、ア、リ、ー、ヤ、
さ、ん、の、生、ま、れ、た、ガ、ー、ナ、に、任、ん、で、い、る、人、を、
が、こ、れ、が、と、く、意、で、い、う、わ、け、ま、な
い、し、人、を、れ、れ、と、く、意、ふ、と、く、意、
が、あ、る、よ、ね。

☆今日のめがかりわがなを、書いてごころつけばよかた
今日のお話で、決めつけをして
しまつと、言、た、本、人、は、気、に、な
ら、な、い、け、れ、ど、言、わ、れ、た、人、は、す
ご、く、き、ず、つ、と、分、か、り、ま、し、た。
あ、と、た、れ、に、だ、て、と、く、意、ふ、
と、く、意、が、あ、る、か、ら、そ、の、人、の、こ
と、を、知、り、て、あ、げ、る、こ、と、が、大、切、だ、と、分
か、り、ま、し、た。

決、め、つ、け、な、い、た、め、に、は、そ、の、人、の
こ、と、を、知、る、と、い、う、こ、と、が、大、切、だ、と
知、り、ま、し、た。

【授業で工夫した点・事前研修・事後研修など】

- 先入観や固定観念を見直し、誰に対しても公正公平な態度で接することに視点が向くようにTTによる授業を行った。
今回、「ぼく」の気持ちを追って授業を進めていくのが、T1。足が速いと思いこまれて困っているガーナ生まれのアリーヤさんの気持ちをT2が聞いていった。それぞれの視点で問いかけをすることで、児童の思考が混乱しないようにした。
- 朝のモジュールの時間を使った「糸引タイム」の話し合いを意識したグループトークを取り入れた。「グループで話し合わせることで多様な意見に触れ、自分の考えを広げさせる」「自分の考えと友だちの考えを比べながら発表させることによって、多様な見方や考え方があることに気付かせる」というねらいがあった。このように見方や考え方を広げることが、多文化共生に繋がっていくと考えた。
- 授業の導入では、スライドを活用した。外国の人がイメージする日本の食べ物などを挙げ、自分たちも外国の人たちから、「日本人は納豆が好き」と決めつけられているし、また、私たちもアフリカの人のことを決めつけているということに気付けるように工夫した。
- 事前授業で、板書に少し気持ちの部分を多く書いてしまったり、問い返したときに気持ちの部分を聞いたりすると、価値が変わってしまうことが分かった。価値が変わらないように、板書に残す文章や問い返しに気を付けた。さらに、1時間の流れが見やすく、ぼくとアリーヤさんの気持ちが分かりやすい板書を心がけた。普段の授業では青いチョークで文字を書かないが、視覚支援も兼ね、色覚に対応したチョークを使用し、誰もが見やすい板書になるように気を付けた。
- 事前授業では、クロムブックのスクリーンキャストを用いて、授業の様子を動画で記録した。そうすることで、発問の仕方や問い返し方を検討するのに役立て、授業改善に繋がった。また、授業を見ることができなかった推進委員のメンバーも授業の様子が分かり、同じイメージをもって検討会を行うことができた。
- 校内における事後検討会では、道徳における効果的なTTの入り方について話し合いをもった。道徳においてTTは浸透していないが、資料によっては効果的であることを全職員で確認した。今回のように登場人物が複数いて、主人公の変容に関わる人物などは、授業者一人で行うよりもT1・T2に分けた方が子どもたちの視点はその人物に思考が向くので、TTによる授業を行うのは意味があることだ。TTを安易にするのではなく、しっかりと役割分担し、それぞれがねらいをもってこそ、意味のある授業になることを共通理解した。